

ゲーテセンター ドイツ営業所より身近な話題をレポートさせていただきます。

昨年3月にロックダウンが実施され、8月頃に一度緩和しかけたのですが、感染者の増加により再びロックダウンが強化されたドイツです。ただし、スーパーマーケット、ガソリンスタンド、銀行、医療機関、自動車修理など、ライフライン維持のための業種の営業は許可されているのでそれほど不便はありません。マスク無しで指定地域を歩いた場合、6000円相当、理由なく集まって騒いだら3万円相当の罰金が実際に課せられています。飲食店は持帰り営業のみ、ライブや集会は基本禁止など、日本よりも厳しい制限が課せられています。なぜか花屋の営業は許可されています。閉塞感を少しでも和らげるための計らいでしょうか。コロナ禍の状況が改善されても以前と同じに戻ることはないと思いますが、在宅勤務、ウェブ会議を中心にした新しい現状、New Normalを前提として何ができるか、日々模索しています。もちろん、日独双方の往来が再開される日は待ち遠しいです。



ドイツのプロサッカー、ブンデスリーガでは10人を超える日本選手が活躍しています。フランクフルトのチーム、アイントラハトでも長谷部選手が活躍しています。今季37歳ですが新たな契約延長を獲得しました。試合開始前の選手紹介でも長谷部選手には、ハアセイベエと大声援が送られます。フランクフルトでは最も知られ愛されている日本人です。



3月27日から28日にかけてサマータイムへの変更があります。28日の午前2時を午前3時にワープさせます。日照時間の変動が季節によって4時間以上ある高緯度の欧州で照明電力の節約を目的に導入されたのですが、最近の研究では節約効果は無いとされ廃止に向けて検討が進んでいます。変更の都度、日本との時差という明確なモノサシのある日本人は時計を進めるか戻すか即答できるのでドイツ人から毎回、どうすればいいか聞かれます。

今回はこの辺まで、また次回、レポートさせていただきます。